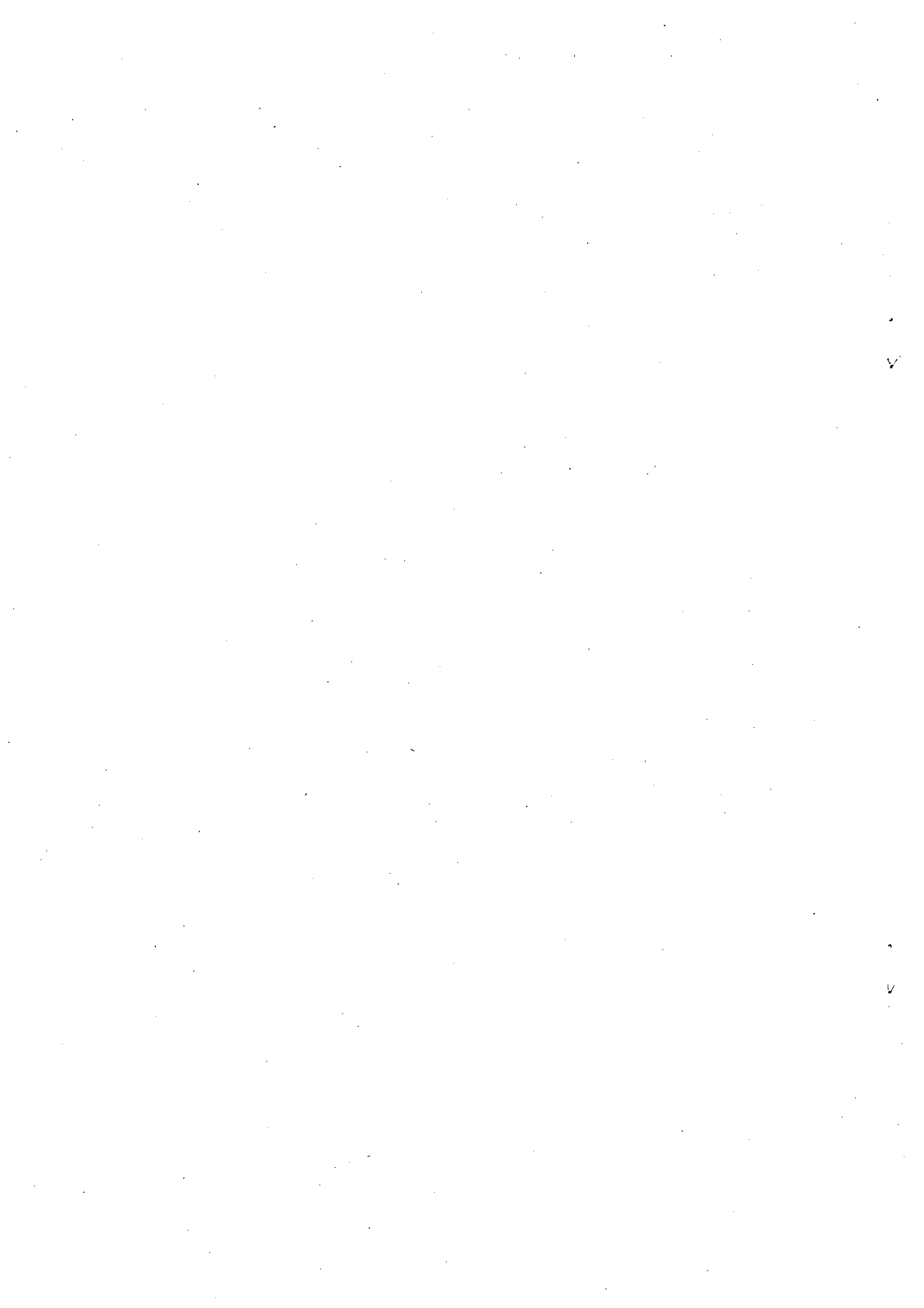


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年3月21日)

- 1 平成28年度特別交付税の交付額の決定について
【地域振興課】・・・1ページ
- 2 チーム鳥取！発掘・育成事業の取組状況について
【スポーツ課】・・・3ページ
- 3 ワールドマスターズゲームズ2021関西大会第1次総合実施計画（案）について
【スポーツ課】・・・4ページ
- 4 みんなで地方創生事業の執行状況について
【中部総合事務所、西部総合事務所】・・・6ページ

地 域 振 興 部



平成28年度特別交付税の交付額の決定について

平成29年3月21日

財政課

地域振興課

平成28年度特別交付税について、3月交付額が3月17日（金）に決定され、下記のとおり本年度の交付総額が確定しました。

記

1 鳥取県の状況（交付総額）

（単位：百万円、％）

区分	平成28年度 A	平成27年度 B	増減額 A - B = C	増減率 C / B
県分	3,444	2,648	796	+30.1
市町村分	10,415	10,043	372	+3.7
計	13,860	12,691	1,169	+9.2

※端数処理により、合計と内訳は一致しない場合があります。

2 全国の状況（交付総額）

（単位：百万円、％）

区分	平成28年度 A	平成27年度 B	増減額 A - B = C	増減率 C / B
県分	149,421	136,351	13,070	+9.6
市町村分	852,556	868,947	△16,391	△1.9
計	1,001,977	1,005,298	△3,321	△0.3

※平成28年度は、熊本地震復興基金の設置に係る補正額510億円を除いています。

※端数処理により、合計と内訳は一致しない場合があります。

3 その他

(1) 特別交付税は毎年度12月及び3月に交付決定されます。

鳥取県関係の3月分は、本年度交付総額13,860百万円のうち12月までの交付額を除く、9,443百万円（県分2,406百万円、市町村分7,037百万円）が交付決定されました。

(2) 市町村別の内訳等は、別紙のとおりです。

平成28年度特別交付税の配分(市町村分)

【概況】

○平成28年度の鳥取県市町村分特別交付税総額は、10,415百万円(対前年度比+3.7%)。
 ○市分の交付総額は、4,781百万円(対前年度比+5.8%)。
 ○町村分の交付総額は、5,634百万円(対前年度比+2.0%)。
 本年度は、熊本地震や台風等により全国的に災害等への配分が大きく増えている影響で、災害等の特殊要因がない団体は対前年1割以上の減少がベースになるとされている。ただし鳥取県では、鳥取県中部地震対策や大雪に係る除排雪経費等により市町村総額としては3.7%増加し、12団体で増加した。なお、災害等の影響が比較的少なかった団体を中心に7団体では減少となった。

【市町村別交付額】

(単位:千円、%)

区分	平成28年度 交付額 A	平成27年度 交付額 B	対前年度増減		震災復興 特別交付税
			増減額C (=A-B)	増減率 C/B	
鳥取市	2,204,952	2,114,987	89,965	4.3	0
米子市	1,009,725	981,747	27,978	2.8	30
倉吉市	968,272	821,564	146,708	17.9	0
境港市	598,156	602,478	△ 4,322	△ 0.7	0
岩美町	400,960	412,911	△ 11,951	△ 2.9	0
若桜町	223,724	214,652	9,072	4.2	0
智頭町	489,629	482,396	7,233	1.5	0
八頭町	526,512	526,407	105	0.0	0
三朝町	229,219	205,964	23,255	11.3	0
湯梨浜町	430,473	384,866	45,607	11.9	0
琴浦町	454,205	439,381	14,824	3.4	0
北栄町	419,463	338,026	81,437	24.1	0
日吉津村	105,455	109,099	△ 3,644	△ 3.3	0
大山町	355,846	370,798	△ 14,952	△ 4.0	0
南部町	541,553	566,296	△ 24,743	△ 4.4	0
伯耆町	340,930	354,564	△ 13,634	△ 3.8	0
日南町	523,659	541,322	△ 17,663	△ 3.3	0
日野町	331,452	325,120	6,332	1.9	0
江府町	261,184	250,422	10,762	4.3	0
市計	4,781,105	4,520,776	260,329	5.8	30
町村計	5,634,264	5,522,224	112,040	2.0	0
合計	10,415,369	10,043,000	372,369	3.7	30

チーム鳥取！発掘・育成事業の取組状況について

平成29年3月21日
スポーツ課

平成26年度から実施している「チーム鳥取！発掘・育成事業」の取組状況について、報告します。

1 事業目的

本事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック等で活躍する「鳥取育ち」のトップアスリート候補生を競技団体と連携して発掘するとともに、専門的に育成するプロジェクト。

《対象競技》アーチェリー、自転車、ボート、ホッケー、ライフル射撃、レスリング、セーリング、カヌー

2 1期生の育成状況

(1) 平成26年度に選抜した1期生は現在16名が活動しており、体カトレーニング、メンタルトレーニング、栄養指導を継続的に受けつつ、自ら選択した専門競技で大会等へ参加し好成績を収めた。

- ・U-15ホッケー日本代表選手 山中基矢（八頭中3年）
- ・第25回全国中学校新人競漕大会 女子シングルスカル 準優勝 松原優香（尚徳中2年）
- ・第2回全国中学生ライフル射撃選手権大会 出場 高藤滉一（鳥取南中1年）

(2) スポーツ食育の指導を受ける前後で食事調査を実施したところ、タンパク質、ビタミンB1、ビタミンC、ビタミンDの摂取量に改善が見られ、「食事の質の向上」が示唆された。

また、意識調査の結果から「食事を意識するようになった」の回答が32%、「食事のバランスが良くなった」「補食を考えて取るようになった」の回答がそれぞれ20%改善するなど食事に対する意識が高まった。

【2期生の競技選択結果】

競技名		男子	女子	計
1	アーチェリー	3	3	6
2	自転車	3	1	4
3	ボート	3	3	6
4	ホッケー	1	1	2
5	ライフル射撃	1	2	3
6	セーリング	3	1	4
7	カヌー	2	0	2
8	レスリング	0	1	1
9	クライミング	0	1	1
計		16	13	29
辞退者		4	4	8

3 2期生の育成状況

(1) 2期生として認定された37名のうち29名が専門競技を決定し次年度も活動する。

(2) 体カトレーニング指導の前後で体力測定を実施したところ、持久力（5%）、筋パワー（42%）、平衡感覚（66%）において顕著な向上が見られた。

(3) スポーツ食育指導後に実施した意識調査の結果では、食育プログラムについて82%の児童が「とてもわかりやすかった」と回答し、プログラム受講後の食事について「食事バランスを考えて食べるようになった」、「朝食を食べるようになった」など食生活改善を実感する回答が見られた。また、食事調査では栄養素や食品数の増加が顕著に見られ、特にタンパク質、ビタミンB1、ビタミンB6、緑黄色野菜、果物、肉類が有意に増加した。

4 3期生の選抜結果

(1) 小学4・5年生を対象に候補生を募集し、39名を選抜した。

- ・応募総数：120名
- ・一次選考：63名合格
- ・二次選考：39名合格

(2) 合格者の認定式を3月26日（日）に県民体育館（鳥取市布勢）で実施する予定。

【3期生の選抜結果】

地区	4年生			5年生			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
東部	6	3	9	3	9	12	9	12	21
中部	1	2	3	2	1	3	3	3	6
西部	1	3	4	6	2	8	7	5	12
合計	8	8	16	11	12	23	19	20	39

5 事業の再構成（H29当初予算案）

「チーム鳥取発掘・育成事業」については、2年間の成果と課題を踏まえて平成29年度から「世界に羽ばたく鳥取ジュニアアスリート発掘事業」と「競技力向上対策事業（特別ジュニア強化選手事業）」の2事業に再構成して実施する予定。

対象者	事業名	内容	事業予算
1・2期生	競技力向上対策事業（特別ジュニア強化選手事業）	専任コーチによる技術指導 県外合宿遠征、スポーツ養育アカデミー	8,658千円
3期生	世界に羽ばたく鳥取ジュニアアスリート発掘事業	基礎体カトレーニング、スポーツ教育（栄養・メンタル）、競技体験	6,911千円

ワールドマスターズゲームズ2021 関西大会第1次総合実施計画（案）について

平成29年3月21日
スポーツ課

ワールドマスターズゲームズ2021 関西の開催に向け、大会組織委員会から大会の第1次総合実施計画（案）が提示されましたので報告します。（5月の組織委員会理事会で決定予定）

1 ワールドマスターズゲームズについて

国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が4年毎に主催し、概ね30才以上の成人・中高年の一般アスリートが参加する世界最高峰の生涯スポーツの国際総合競技大会。第10回がアジアで初めて鳥取県、徳島県を含む関西で開催。

（1）ワールドマスターズゲームズ2021 関西大会概要

- ・開催期間 平成33年5月15日（土）～30日（日）（16日間）
- ・開催場所 鳥取県等を含む関西地域（開会式：京都市、閉会式：大阪市）
- ・開催競技 32競技55種目
- ・開催目標 参加選手約5万人（国内3万人、国外2万人）
※過去の参加者数：エドモントン大会(2005) 約21,600人、シドニー大会(2009) 約29,000人、トリノ大会(2013) 約19,000人
- ・主催 一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会
※知事は組織委員会の副会長
※本県から組織委員会へ職員を派遣（現在2名）するとともに、開催競技種目に係る事業費及び派遣職員に係る人件費を組織委員会に負担。

（2）本大会の特徴

◎アジア初開催

アジアにおけるマスターズ文化のパイオニアやツーリズムの起爆剤となる大会とするため、アジア各国に潜在しているマスターズスポーツのニーズ掘り起しや訪日旅行者の取り込み等を推進。

◎初の広域開催

各地域独自の取組を競い合いつつも、関係者が連携しオールジャパンで一体的な取り組みを推進し、関西・日本の文化・産業の活性化につなげるなど、地域の創生に取り組む。

◎過去最大規模の大会

随行者を含め国内外から15万人以上の人々が訪れる過去最大規模の大会効果を更に高めるため、おもてなし精神を最大限に発揮する取組により世界の人々が感動する最高の舞台を提供。

◎大規模国際スポーツ大会の連続開催

2019 ラグビーワールドカップ、2020 東京オリンピック・パラリンピックと連携し、両大会の成果を取り入れ、相乗的に生かしながら高まった「みる」スポーツの機運を「する」スポーツにつなげ生涯スポーツ社会の実現に寄与する。

2 第1次総合実施計画

昨年3月に策定した大会基本計画の内容を具体化し、組織委員会、各府県市実行委員会（以下「実行委員会」という。）等の関係機関が役割分担しつつ一体的な大会づくりのために策定。

（1）第1次総合実施計画（案）の概要

ア 大会概要

概要は上記のとおり。参加募集2020年2月～2021年2月を予定。

イ 大会づくりの基本姿勢・テーマ

- ・大会づくりの基本姿勢

大会運営を円滑に推進していくとともに生涯スポーツ社会の実現や文化・産業の活性化、地方の創生など大会成果を引き継ぐレガシーの取組についても重要な要素として推進する。

・大会づくりのテーマ（5つ設定）

- ①全ての参加者に快適で満足できる大会を提供する、②大会の一体感を創出する、③大会づくりの担い手を増やす、④スポーツ愛好家を増やす、⑤大会の情報発信力を向上させる

ウ 推進体制

組織委員会及び実行委員会を推進体制の中心に据えて、関係者の協力連携を図っていく。組織委員会は広域的総合的な業務、実行委員会は公式競技の運営や地域独自の取組等を実施。

エ 大会開催に関する業務

大会の各機能別に取組の基本方針の具体化や役割分担を明確化。

・大会機能の配置

組織委員会がセンタービレッジを、実行委員会がローカル案内所を設置。

・公式競技

開催市町や競技団体と連携を図り、実行委員会が競技実施要項を作成する。

・交流の場づくり

大会参加者同士や地域住民等との交流を楽しむ『交流の場』を各地に設置する。

・宿泊

実行委員会は大会参加者の宿泊に関する考え方を検討。組織委員会は調査や方針を踏まえ宿泊計画（宿泊確保数や参加者への提供方法等）を策定する。

・交通（輸送）

組織委員会は都市間など広域移動を、実行委員会は地域内移動の交通手段を担当する。

・観光、文化

各地域資源を関西ブランドとして発信や周遊観光プラン提供等の参加者サービスなどを検討。

3 本県の取り組み

- ・本県では、アーチェリー（鳥取市）、自転車トラック・ロードレース（倉吉市）、柔道（米子市）、グラウンド・ゴルフ（湯梨浜町）の4競技5種目を開催。

- ・4月7日に鳥取県実行委員会の設立総会を倉吉市で開催。

日時：平成29年4月7日（金）

場所：倉吉シティホテル（倉吉市山根）

主な参加者（予定）：平井知事、鳥取市 深澤市長、米子市 野坂市長、倉吉市 石田市長、湯梨浜町 宮脇町長、県アーチェリー協会 杉原会長、県自転車競技連盟 上村会長、県柔道連盟 常田会長、県グラウンド・ゴルフ協会 石丸会長 ほか

- ・組織委員会と連携し、競技運営、案内、輸送、宿泊、観光等の計画検討や広報等を実施。
- ・4月下旬にWMGオークランド大会の調査やグラウンド・ゴルフのPRを現地で実施。

《開催競技種目・会場》

競技名	市町	会場	競技日数	参加想定人数	備考
アーチェリー(ターゲット)	鳥取市	コカ・コーラウエストスポーツパーク	3日	200人	
自転車(トラック)	倉吉市	倉吉自転車競技場	4日	500人	
自転車(ロードレース)		倉吉高城ロードレースコース	1日	1,100人	倉吉市高城地区に特設
柔道	米子市	県立武道館	3日	500人	
グラウンド・ゴルフ	湯梨浜町	グラウンド・ゴルフのふる里公園「潮風の丘とまり」	2日	672人	オープン競技開催(記録はIMGA参考記録、メダルは大会独自メダル)

みんなで地方創生事業の執行状況について

平成29年3月21日
 東 部 振 興 課
 中 部 総 合 事 務 所
 西 部 総 合 事 務 所

地方創生の実現に向けて、民間団体等が取り組む地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するため、地域の実情や特性に配慮しながら、時期を失することなく効果的に事業が実施できるよう、東部振興監、中部総合事務所及び西部総合事務所において実施している「みんなで地方創生事業」の執行状況を報告します。

1 東部振興監

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
トワイライトエクスプレス「瑞風」停車を活かした岩美町の地域資源情報発信・PR事業	トワイライトエクスプレス「瑞風」の岩美町東浜駅への停車に併せて、同町東浜に整備されたレストラン「AL MARE (アルマーレ)」において、瑞風の乗客に同町内の岩井窯の陶器での食事を楽しんでいただくことで、岩美町立ち寄りの満足度と魅力発信の向上につなげる。	(株) 東浜	1,000,000	瑞風停車を活かした民間による地域振興を支援するとともに、岩美町の特産品を富裕層や全世界にPRする。(アルマーレは平成29年4月27日オープン予定、事業進行中)
ジビエ活用推進セミナーの開催	「とっとりジビエフェア2016」の開催に併せて「ジビエ活用セミナー」を開催し、農林水産省等関係団体による講演会を実施するとともに、首都圏バイヤーを招へいたした商談会を実施し、県産ジビエの流通拡大を図った。 日 時 平成28年11月5日(土) 場 所 ホテルニューオータニ鳥取 「はまなす」ほか 参加者 講演会 約70名 商談会 3団体(県内2、県外1)	鳥取県	998,000	多くの県内外のジビエ関係者に出席いただき、県産ジビエの魅力をPRするとともに、新たな販路拡大につながった。
計			1,998,000	

2 中部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
倉吉市・赤瓦でのカニ汁無料ふるまい「鳥取県は元気です！」	<p>鳥取県中部地震により被害を受けた赤瓦等において、岩美町、かろいちほか県内の観光団体等の協力を得て鳥取県特産のカニ汁の無料提供を実施し、県内の観光地や温泉は通常どおり営業していることを示し、県全体の賑わいの創出と震災前と同様の観光客誘客につなげた。</p> <p>日 時：平成28年11月21日(月) 11月27日(日) 12月 3日(土) 12月11日(日) 12月18日(日)</p> <p>場 所：赤瓦1号館駐車場、倉吉駅前 参加者：1日当たり約200名 共 催：倉吉銀座商店街振興組合、湯梨浜町観光協会、三朝温泉観光協会、北栄町観光協会、琴浦町観光協会、倉吉市ホテル旅館組合、三朝温泉観光協会、三朝温泉旅館協同組合、(一社)鳥取中部観光推進機構</p>	倉吉観光マイ ス協会	615,127	フジテレビ、TBSなどの全国メディアに数多く取り上げられたことにより、鳥取県中部が震災前と同様、元気に営業していることを周知できた。観光客を地元の味でもてなすことで旅行に対する満足度向上につながった。

3 西部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
～鳥取県・モンゴル中央県友好交流20周年記念イベント～モンゴル国立馬頭琴交響楽団演奏会	<p>モンゴルの代表的民族楽器「馬頭琴」の演奏を通して、モンゴル文化の体験、理解、文化交流の発展継続を目指した。</p> <p>日 時：平成28年11月10日(木) 場 所：米子市公会堂 大ホール 来場者：781名 内 容：モンゴル国立馬頭琴交響楽団演奏会による演奏会、モンゴル鳥取県友好交流パネル、民族衣装等の展示</p>	鳥取県・モン ゴル中央県友 好交流20周 年記念プレイ ベント実行委 員会	700,000	演奏だけでなく日本語解説や展示により多くの方にモンゴル文化を紹介し、環日本海諸国との文化交流の一助となった。
～大山環状道路社会実験の賑わいイベント～大山ミニバーガーフェスタ	<p>大山環状道路社会実験(マイカー規制)に併せて、鏡ヶ成の江府町側でミニバーガーフェスタを開催し、県外観光客等に地域の食の魅力アピールを目指した。</p> <p>日 時：平成28年10月29日(土) 場 所：江府町鏡ヶ成の駐車場付近 主 催：全国ご当地バーガー連絡協議会 その他：とっとりバーガーフェスタ上位入賞をはじめとした県内外の5店舗が出店</p>	全国ご当地バ ーガー連絡協 議会	400,000	準備した商品が完売するなど好評を得た。また、鳥取の食の魅力のひとつである「ご当地バーガー」を広く周知することができた。

<p>「日野郡3町三色たたらんち」を活用した日野郡観光資源の情報発信</p>	<p>平成29年ゴールデンウィークにデビュー予定の新ご当地グルメ「たたらんち」と、日野郡の観光資源等を絡めた情報発信を行い、地域の活性化を目指した。 (内容) ・ランチと地域の旬な情報を発信するホームページの開設 ・ランチデビューキャンペーン企画及びチラシ作成 ・ランチヨンマット作成 等</p>	<p>日野郡広域交流促進協議会</p>	<p>708,000</p>	<p>観光客を日野郡に呼び込むため「たたらんち」デビューを核とした様々な情報発信の仕組みが整ったことで、地域活性化に向けた機運が盛り上がってきた。</p>
<p>計</p>			<p>1,808,000</p>	